

団体名	公益財団法人母と学生の会						
事業名	日本文化体験を通した「多世代・多地域・多大学」をつなぐ交流事業						
実施期間	2021年12月～2022年1月						
場 所	国立劇場、各大学など						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	1,664		30	12	14		1,720名

### <実施内容>

本事業「日本文化体験を通した『多世代・多地域・多大学』をつなぐ交流事業」では、主に都内の大学に所属する留学生と、弊財団会員を中心とした多世代の日本人との交流の機会として2つのイベントを実施。

#### 【12月 文楽鑑賞教室と皇居東御苑散策】

留学生と地域住民とともに、国立劇場の文楽鑑賞教室に参加しました。教室では文楽についての解説を聞き、続いて「新版歌祭文 野崎村の段」を鑑賞しました。その後、感染症防止対策を講じつつ昼食をとりました。昼食後は文楽の感想だけでなく、日本で勉強していることや関心のある日本文化などを話しながら交流をはかりました。そして、各自小グループで伝統芸能情報館を訪問したり皇居東御苑散策したりして過ごしました。

#### 【1月 節分豆配付】

弊財団が運営する東村山市にある学生寮「時習学舎」にて、会員とスタッフにより福豆を梱包し、節分の意味などを添えたメッセージカードとともに10つの大学および学生寮に送付しました。各大学・寮の担当者からは「コロナ禍で日本文化を感じられるイベントや季節行事が開催されないなか、直接会えなくても日本人とつながる機会を得られた」との感想をいただきました。

### <記録写真>



国立劇場前での集合写真



文楽鑑賞後の周辺散策



メッセージ付きの節分豆

### <参加者からのコメント>

周センさん(中国)/zhouxuan

古い日本語を理解するのが難しかったですが、三人で人形を演出するのが非常に面白かったです。職人の人が丁寧に説明してくれて、本当にありがとうございます。

Nor nadiyah najibさん(マレーシア)

ストーリーがよくわからないところもありましたが、文楽を見るのは本当に面白い経験でした。このセッションは、文楽を操作するだけでなく、さまざまな技術も見せてくれたので、とても素晴らしいものでした。とても面白くて教育的です！